



健康サポート 薬局

認定後1年の振り返り

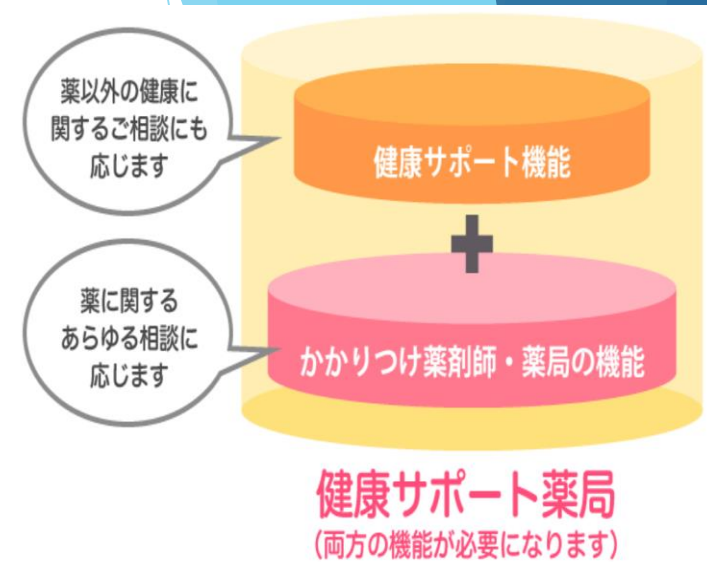
🍎 株式会社ファルマ 黒石薬局 🍎

大川 誠也 小田桐 徳子 小原 晴子 津川なつみ

健康サポート薬局とは

- ▶ 地域住民の健康を守るために活動している薬局です。
地域住民が気軽に訪れ、健康上の問題を最初に相談する「**ファーストアクセス**」の場として2016年4月にスタート
～認定薬局となるためには～

- 一般用医薬品（OTC）や介護用品など求めに応じて販売できる程度準備していること（48品目）が要件の一つです。
- 地域住民の健康増進のためにイベントを定期的に行なうことが必要
- 他の医療機関や訪問看護、介護事業所などとの連携が取れていることが必要
- その他薬局の機能として、在宅医療を行っていることや来局者のプライバシーに配慮した構造（相談室があるか）など条件があります。



健康サポート薬局の現状


- ▶ 黒石薬局は2018年5月認定
- ▶ 健康サポート薬局の届出数は、2019年6月28日時点で1432薬局。16年4月に制度がスタートして約3年経つが、全国約5万9000軒の2%にも達していないレアな存在です。
- ▶ 青森県でも約600軒の薬局のうち19軒（3%）しかありません。
- ▶ 増えない理由の一つに健康サポート薬局として届け出て活動しても、それ自体に対する経済的なリターンは、一切ない。むしろ、研修費やOTC薬を仕入れる費用など、持ち出しとなることが多いという点があります。



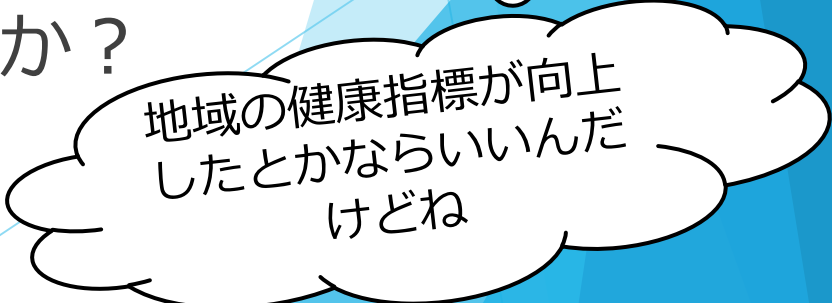
健康サポート薬局に認定されました 「はい、ゴール♪」！？

何をもって健康サポート薬局として成功 したと言えるのか？

- ▶ 健康サポート薬局に認定され活動を進める中で、はたして地域住民などに貢献できているのか？
- ▶ 薬局として健康サポート薬局に認定された前後でどのような変化があったか？
- ▶ 民医連以外の医療連携機関とも連携しているのか？



イベントを開くことが目的じゃないよね



地域の健康指標が向上したとかならいいんだけどね

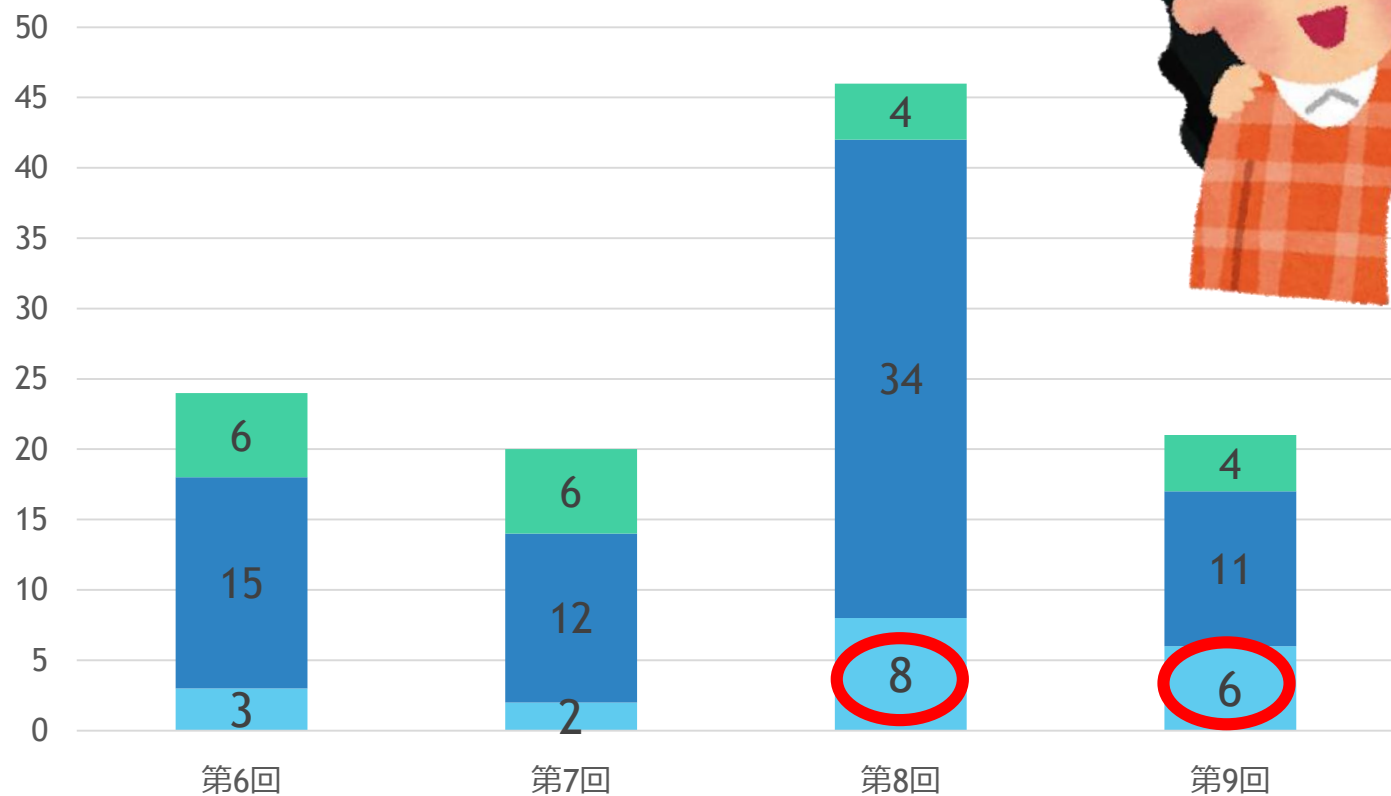
振り返るために5項目を調査

- ① 健康教室参加者アンケートをまとめる
- ② 隣接医療機関以外からの処方箋件数割合
- ③ OTCの販売額、相談事例
- ④ 地域活動への依頼件数
- ⑤ 医療連携機関への紹介内容

健康教室参加者アンケートを参考

- ▶ 認定後に健康教室へ参加された方のアンケートより抽出
- ▶ 黒石薬局では4か月に1回、公民館をお借りして開催
それ以外の月は薬局内にて健康講話を開催
- ▶ アンケート項目は参加のきっかけ、参加回数、
今後の開催して欲しいテーマ、次回また参加したいか

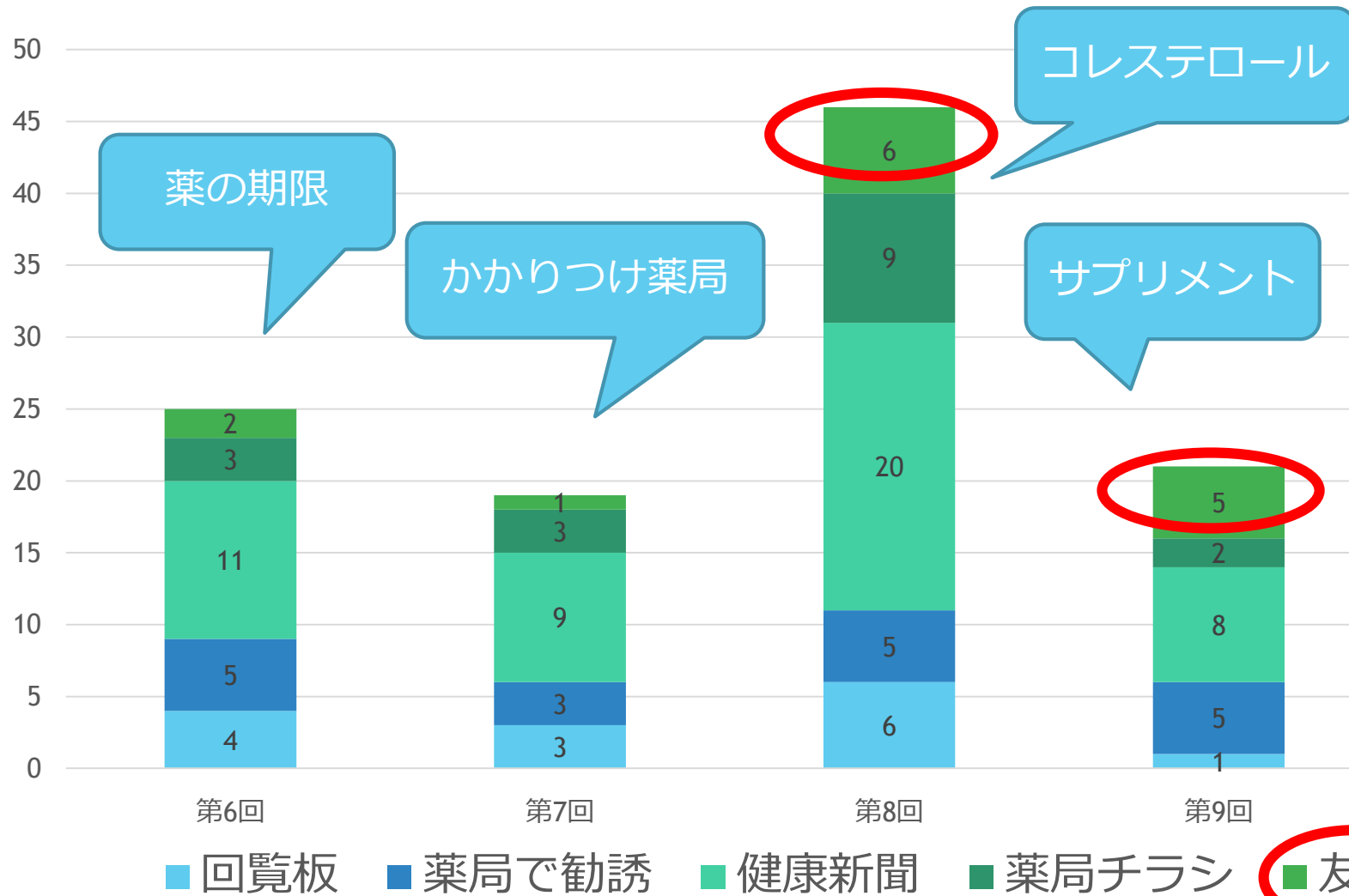
健康教室の参加回数



■ 初めて ■ 2回以上 ■ 毎回

友人に誘われて初めて参加した方が多くなっていることから、参加者が有意義で他の方を誘いたいと思ってくれている証だと考察できる。

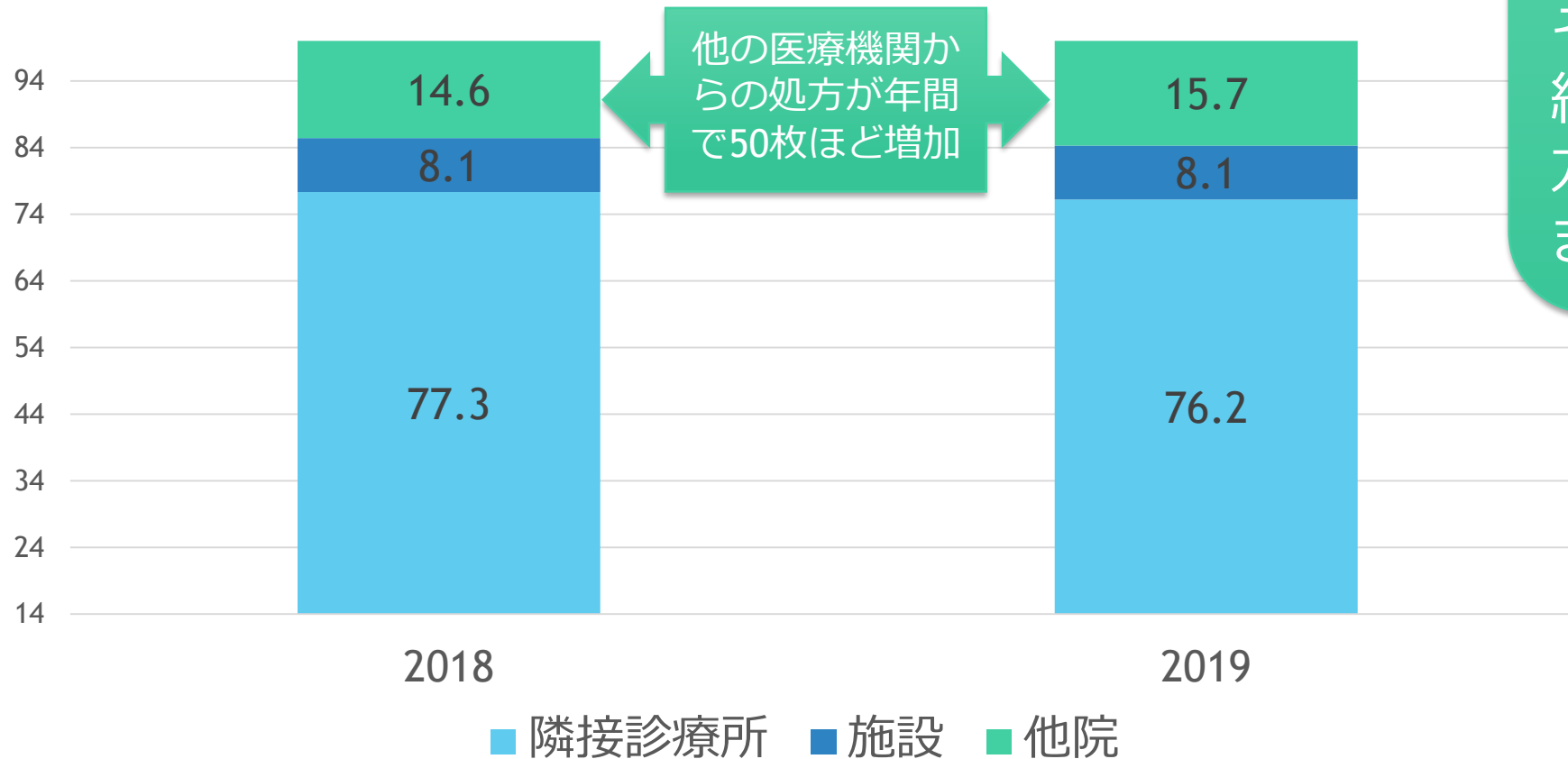
健康教室へ参加のきっかけ



テーマによって人数は変わるが、注目して欲しいのは「友人に誘われて」が増えてきている点。



受付処方箋の割合 (%)

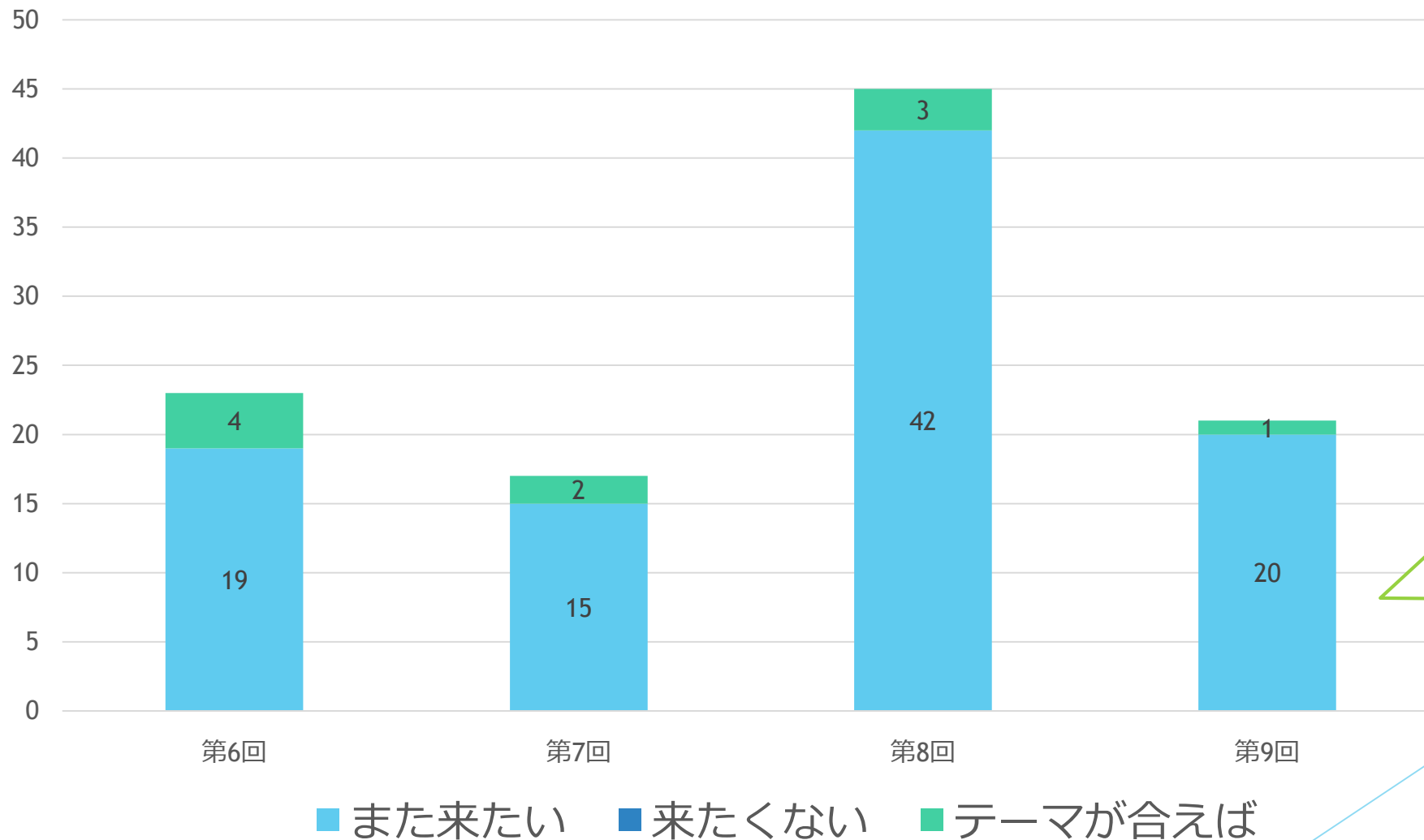


健康サポートに認定された直後の3か月とその1年後を比較した結果、他院からの処方箋持ち込みが増えました！



他院の処方箋の持ち込まれる件数が増えた理由として考えられることは、健康教室などで地域の薬局として認知されたためと考えられます。また、もってきてくれた患者さんの住所も薬局の近くが多くなっています。

次回また参加したいか



次回のテーマがまだ決まっていないにも関わらず、また来たい方が多数。

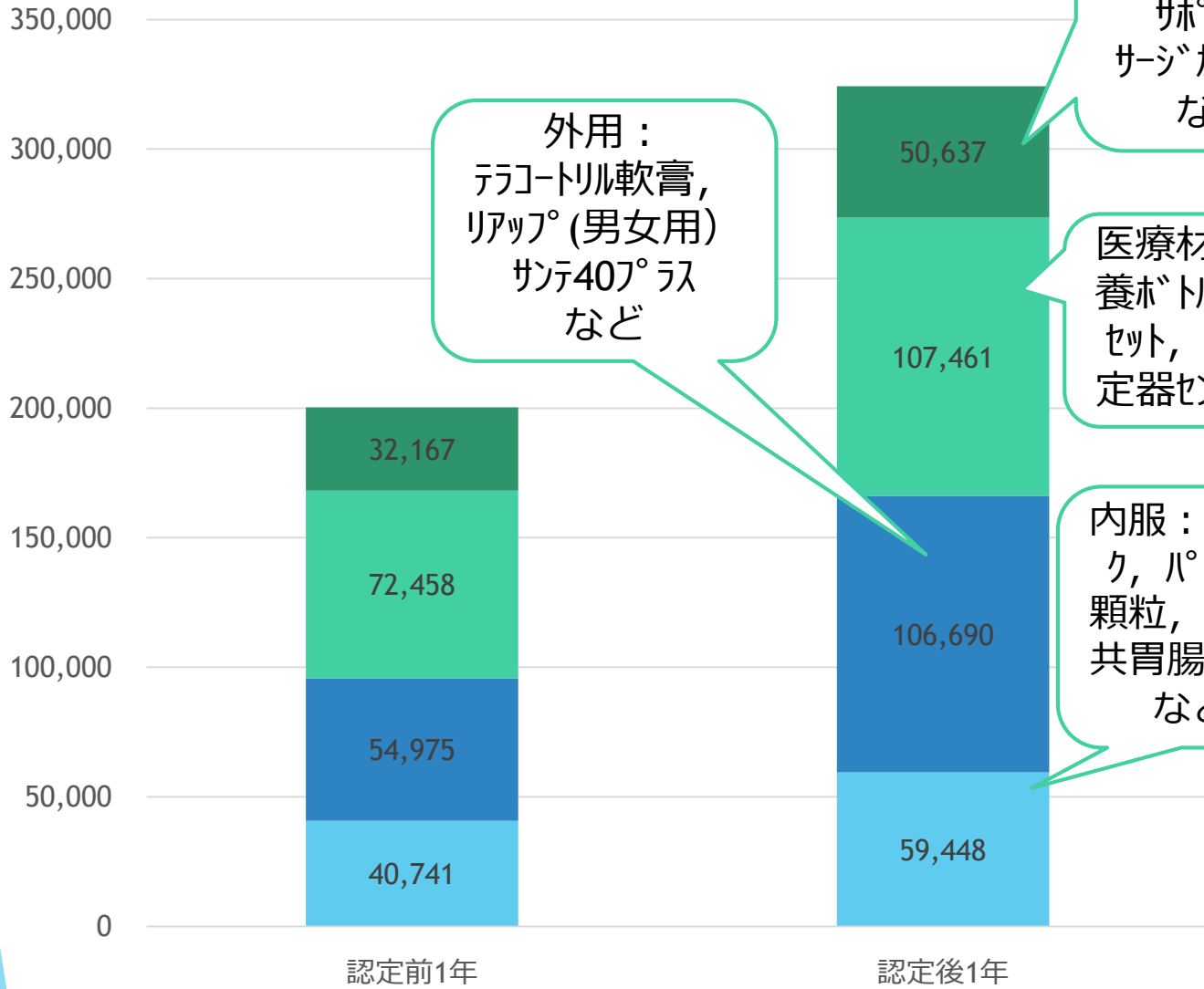
薬局周辺図



隣には大型
ドラッグス
トア

- ★ 医療機関
- ★ 歯科
- ★ 薬局

③ OTC商品の販売額



外用：
テラトリアル軟膏，
リアップ(男女用)
サンテ407°ラヌ
など

衛生用品：
滅菌が-ゼ
プラスモイスト
サポーター
サージカルテープ
など

医療材料：栄養
ボトル，栄養
セット，血糖測
定器センサーなど

内服：ビューラック，
パロインPL
顆粒，第一三
共胃腸薬錠剤
など...

■ OTC内服 ■ OTC外用 ■ 医療材料 ■ 衛生用品



薬が出来るのを待つ間に、
つついっい掲示物を見てしま
うよね。



一般用医薬品、健康食品などの購入相談例

★下痢が続いているため何かいい薬はないか？
併用薬を確認しビオフェルミンを提案

★整形で痛み止めもらっているが受診ができない、市販薬
ないかしら？
併用薬を確認しロキソニンS販売

★冬になると杖が滑って危ない。
付属するスパイクを提案

★頭皮のフケがひどい。
キュレル頭皮ローションを提案

★便秘がひどい、病院でもらえる薬は薬局にはないのか？
併用薬（酸化Mg）を確認しビューラックを提案

健サポート薬局になってから品揃えが増えたため、販売できる薬の幅が増えてよかった。

一般用医薬品を販売する際のLQQTSA確認フローチャートや相談記録用紙なども準備。



④地域活動への依頼件数

- ▶ 班会や地域の集まりへの依頼数
⇒住民の自主的学習会3回、町内会での講演1回
- ▶ サービス担当者会議、退院時調整会議
⇒多数
- ▶ 地域ケア会議への参加数
⇒地域ケア会議での講演2回
- ▶ その他、行政からの依頼事項
⇒薬局長が市の国保運営協議委員
地域ケア会議委員に任命



業務時間内に薬局長の外出が増えて、現場は少し大変です...

⑤ 連携医療機関等への紹介数

▶ 健康診断紹介数※黒石市での特徴的な取り組み

⇒1件 黒石市健康推進課へ

▶ 介護が必要と思われる方（旧特定高齢者）の紹介数
（まちかど相談事業）

⇒1件 黒石市地域包括支援センターへ

▶ 認知症と思われる方の紹介数

⇒3件 黒石市地域包括支援センターへ

▶ 受診勧奨数

⇒3件 近隣の医療機関へ（内科2件、眼科1件）



～まとめ～

- 健康サポート薬局は取得して**ゴール!**ということではなく、取得してからが本番である。
しかし、この薬局を**必要**としてくれている実感が取得前より感じられるので、**届出準備は時間を要したが**取得して良かったと言えます。
- 健康教室などを通して薬局の存在が地域に認められた結果、**処方箋の持ち込みも増加**しました。
経営的にプラスになることが判明
- これからも**「地域住民の健康」**を考えながら、新しいことも取り入れていければと思います。

